



# 地図学の聖地を訪ねて

地形図片手にたどる  
測量の原点と  
地理教科書ゆかりの地

首都大学東京 教授  
**松山 洋 編著**



二宮書店のHPから  
オンライン書店経由で  
購入できます。

定価：本体 **1,900円** (税別)

B5判

本文104頁 (うちカラー48頁)

地形図：33点

図表：35点

カラー写真：173点

ISBN978-4-8176-0422-4 C0025



『地図学の聖地を訪ねて』は、新たなスタイルの「地形図ぶらり旅」入門書です。日本経緯度原点・日本水準原点など地図を作る上で重要な場所や、扇状地・河岸段丘など地理教科書でよく取り上げられている場所を「地図学の聖地」と名付けました。そして、著者が実際に訪れた現地の様子を、豊富な地形図・カラー写真とともに紹介しました。高校生や大学生の地図・地理学習の副読本としてもオススメです。



◎油壺験潮場周辺(第2章)

## 地図測量の聖地編 (第1章～第10章)

三角点，水準点，日本経緯度原点，国土地理院，  
鹿野山測地観測所，日本水準原点，霊岸島水位観測所，  
油壺験潮場，堀江水準原標石，劔埼灯台，洲崎灯台，  
筑波山，伊能忠敬記念館，北岳，茶臼岳，青蘿山，  
平面直角座標系 第II系原点・第VIII系原点，  
日本へそ公園，明石市立天文科学館，相模野基線...etc



## 地理教科書の聖地編 (第11章～第21章)

百瀬川扇状地，沼田市の河岸段丘，室戸市の海岸段丘，  
屏風ヶ浦の海食崖，酒田市の海岸砂丘，砺波市の散村，  
岩木川の自然堤防立地村，三陸のリアス海岸，  
阿蘇のカルデラ，茨城県・千葉県にある対岸飛び地

...etc



◎沼田市の河岸段丘(第13章)